

平成 28 年 3 月期 第 1 四半期決算概要

平成 27 年 8 月 6 日

会 社 名 アニコム損害保険株式会社

U R L <http://www.anicom-sompo.co.jp/>

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大久保 弘二 TEL (03) 5348-3777

1. 平成 28 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	6,086	21.4	531	26.6	381	35.9
27 年 3 月期第 1 四半期	5,012	15.8	419	357.7	280	414.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 1 四半期	2,651 97	—
27 年 3 月期第 1 四半期	1,951 75	—

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 3 月期第 1 四半期	21,543	7,673	35.6
27 年 3 月期	20,736	8,033	38.7

(参考) 自己資本 28 年 3 月期第 1 四半期 7,673 百万円 27 年 3 月期 8,033 百万円

2. 注記事項

(1) 会計方針の変更、会計上の見積りの変更、修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 28 年 3 月期第 1 四半期 143,740 株 27 年 3 月期 143,740 株
- ② 期末自己株式数 28 年 3 月期第 1 四半期 - 株 27 年 3 月期 - 株
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計期間) 28 年 3 月期第 1 四半期 143,740 株 27 年 3 月期第 1 四半期 143,740 株

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末 (平成 27 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間末 (平成 27 年 6 月 30 日)
資産の部		
現金及び預貯金	3,139	3,051
有価証券	15,042	15,288
有形固定資産	85	138
無形固定資産	387	403
その他資産	1,837	2,266
繰延税金資産	255	411
貸倒引当金	△12	△17
資産の部合計	20,736	21,543
負債の部		
保険契約準備金	10,528	11,338
支払備金	1,435	1,709
責任準備金	9,093	9,628
その他負債	2,057	2,443
賞与引当金	93	61
特別法上の準備金	22	25
価格変動準備金	22	25
負債の部合計	12,703	13,869
純資産の部		
株主資本	8,035	7,816
資本金	5,050	5,050
資本剰余金	2,164	2,164
利益剰余金	821	602
評価・換算差額等	△1	△142
その他有価証券評価差額金	△1	△142
純資産の部合計	8,033	7,673
負債及び純資産の部合計	20,736	21,543

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
経常収益	5,111	6,276
保険引受収益	5,012	6,086
(うち正味収入保険料)	5,012	6,086
資産運用収益	98	188
(うち利息及び配当金収入)	51	71
(うち有価証券売却益)	47	116
その他経常収益	0	1
経常費用	4,691	5,744
保険引受費用	3,585	4,465
(うち正味支払保険金)	2,844	3,073
(うち損害調査費)	171	212
(うち諸手数料及び集金費)	296	368
(うち支払備金繰入額)	101	273
(うち責任準備金繰入額)	171	535
資産運用費用	4	—
営業費及び一般管理費	1,058	1,271
その他経常費用	43	8
(うち支払利息)	0	0
経常利益	419	531
特別損失	7	3
特別法上の準備金繰入額	1	3
価格変動準備金繰入額	1	3
その他	5	—
税引前四半期純利益	412	528
法人税及び住民税	76	246
法人税等調整額	55	△98
法人税等合計	131	147
四半期純利益	280	381

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があつた場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 平成28年3月期 第1四半期損益状況

(単位：百万円)

区分		前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	比較増減	増減比(%)
経 常 損 益	保 険 引 受 収 益	5,012	6,086	1,074	21.4
	(うち正味収入保険料)	5,012	6,086	1,074	21.4
	保 険 引 受 費 用	3,585	4,465	879	24.5
	(うち正味支払保険金)	2,844	3,073	229	8.1
	(うち損害調査費)	171	212	41	24.0
	(うち諸手数料及び集金費)	296	368	72	24.4
	(うち支払備金繰入額)	101	273	172	170.4
	(うち責任準備金繰入額)	171	535	364	212.5
	資 産 運 用 収 益	98	188	89	90.7
	(うち利息及び配当金収入)	51	71	19	38.5
	(うち有価証券売却益)	47	116	69	147.9
	資 産 運 用 費 用	4	—	△4	△100.0
	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	1,058	1,271	213	20.1
	そ の 他 経 常 損 益	△42	△6	36	△84.5
経 常 利 益	419	531	111	26.6	
特 別 損 益	特 別 利 益	—	—	—	—
	特 別 損 失	7	3	△4	△59.0
	特 別 損 益	△7	△3	4	△59.0
税 引 前 四 半 期 純 利 益		412	528	116	28.2
法 人 税 及 び 住 民 税		76	246	169	221.9
法 人 税 等 調 整 額		55	△98	△154	—
法 人 税 等 合 計		131	147	15	11.8
四 半 期 純 利 益		280	381	100	35.9
諸 比 率	正 味 損 害 率	60.2	54.0		
	正 味 事 業 費 率	26.8	26.7		

(2)種目別保険料・保険金

保険引受の実績は以下のとおりであります。

①元受正味保険料（含む収入積立保険料）

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	5,012	100.0	15.8	6,086	100.0	21.4
合計 (うち収入積立保険料)	5,012 (-)	100.0 (-)	15.8 (-)	6,086 (-)	100.0 (-)	21.4 (-)

(注) 元受正味保険料（含む収入積立保険料）とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります。（積立型保険の積立保険料を含む）

②正味収入保険料

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	5,012	100.0	15.8	6,086	100.0	21.4
合計 (うち収入積立保険料)	5,012 (-)	100.0 (-)	15.8 (-)	6,086 (-)	100.0 (-)	21.4 (-)

③正味支払保険金

区分	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	2,844	100.0	17.2	3,073	100.0	8.1
合計	2,844	100.0	17.2	3,073	100.0	8.1

(3) 有価証券関係

①満期保有目的の債券

該当なし

②その他有価証券

	前第1四半期会計期間末 (平成26年6月30日)			当第1四半期会計期間末 (平成27年6月30日)		
	四半期貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額(百万円)	四半期貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額(百万円)
公社債	-	-	-	-	-	-
株式	356	385	△28	488	497	△9
その他	11,438	11,421	17	14,698	14,889	△190
合計	11,795	11,807	△11	15,186	15,386	△200

(4) 単体ソルベンシー・マージン比率

「単体ソルベンシー・マージン比率」は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年3月31日現在) (百万円)	当第1四半期会計期間末 (平成27年6月30日現在) (百万円)
(A) ソルベンシー・マージン総額	8,195	8,759
資本金又は基金等	7,435	7,816
価格変動準備金	22	25
危険準備金	—	—
異常危険準備金	696	879
一般貸倒引当金	2	1
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△2	△200
土地の含み損益	—	—
配当準備金未割当部分	—	—
持込資本金等	—	—
繰延税金資産の不算入額	—	—
税効果相当額	41	237
負債性資本調達手段等、保険料積立金等余剰部分 控除項目	—	—
(B) リスクの合計額 $\sqrt{\{(R5+R8)^2+(R2+R3)^2\}}+R4+R6$	5,647	5,943
一般保険リスク(R5)	5,463	5,748
第三分野保険の保険リスク(R8)	—	—
予定利率リスク(R2)	—	—
資産運用リスク(R3)	804	852
巨大災害リスク(R6)	0	0
経営管理リスク(R4)	125	132
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	290.2%	294.7%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額:上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険 : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - (一般保険リスク)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険 : 積立型保険について、実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - (予定利率リスク)
 - ③資産運用上の危険 : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - (資産運用リスク)
 - ④経営管理上の危険 : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - (経営管理リスク)
 - ⑤巨大災害に係る危険 : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
 - (巨大災害リスク)
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。